

地域に貢献する市民活動団体を助成 市民活動支援事業

市民活動団体が地域の課題を解決するために提案・実施する事業に助成金を交付します。

対象団体 市内の5人以上で活動する非営利活動団体（代表者および会則などを定めている団体に限る）

対象事業

次の要件を全て満たす事業

- ① 市民を対象にした地域課題の解決を目的としている。
- ② 非営利で自主的・主体的に実施する。

問い合わせ 自治振興課 ☎2142

③ 平成30年3月末までに実施・完了できる。

申し込み

申請書に事業計画書などの必要書類を添付して、5月31日(水)までに自治振興課へ。

※ 市ホームページ、自治振興課または公共施設（各支所、玖波・栄の各公民館、各コミュニティサロン）に募集要領を置いています。申請の前に必ず募集要領を確認してください。



★幸せな田舎時間

代表者 出店 由稀江

■地域の課題

素晴らしい施設（木野交流館）が利用されておらず、世代間の交流が希薄となっています。

■目的

身近な衣・食・住をテーマにその背景、文化を楽しく学ぶことで市民の交流を図ります。木野地区に人の流れをつくり、地域の活性化を目指します。

■活動内容

木野交流館で年5回程度、様々なテーマで講座を開催しています。平成27年度は、「外国の伝統、文化、料理を学ぶ」「介護と住居についての勉強会の開催」をテーマに講師を招き、講座を開催しました。

■助成事業（助成金）の効果

以前は、自費で講座を開催していましたが、助成金を活用することで活動内容を充実させることができました。

■今後の予定、将来的に取り組みたい課題

交流館をアピールし、「廃校」になった地域に賑わいをつくりたいと思います。



講座「外国の伝統、文化、料理を学ぶ(ブータン)」の様子

助成金の種類など

助成金種類	スタート支援助成金	ステップアップ支援助成金	施設整備等助成金
活動歴の別	4月1日現在で活動歴が3年未満の団体	4月1日現在で活動歴が3年以上の団体	特になし
対象事業	従来事業（団体本来の事業）	新規事業のみ（ただし従来事業であっても新しい課題を掲げて取り組むものは可）	市民活動に必要な施設の改修や備品の購入
助成内容	活動歴が3年に達する年度までを限度に最大3回まで交付可	1事業に1回交付	1団体に1回交付
上限額	5万円/回	10万円	250万円
選考方法	申請書類による審査（申請の先着順）	申請書類による審査（評価点数の高い順）	「大竹市市民活動助成審査委員会」によるヒアリング等の審査（評価点数の高い順）
備考	助成金はすべて予算の範囲内で交付します。また、申請事業に他の助成金などを重複して受けることはできません。		

地域課題に取り組む 市民活動団体を紹介

★大竹ホープ&ドリーム

代表者 お い け 尾池 な お み 菜緒美

■地域の課題

市内に知的障害者が利用できるグループホームやショートステイが無く、居住地での緊急時の生活や、自立した生活の見通しが立たない状況となっています。

■目的

障害があっても大竹でいきいきと暮らすことができるように道筋をつけることを目的としています。

■活動内容

バザーや講演会等のイベントを開催しています。サントピアで実施したドリームバザーは、当事者とその関係者、市民の皆さんが一堂に集うことで、語り合い、互いに理解を深める場とすることができました。また、多機能サービス事業所「レオーネ大竹」誘致後は、月1回程度のミーティングで情報交換を行っています。

■財源

活動期は会費を財源としていましたが、現在は、参加費をミーティング時に徴収して会場費に充てています。

■助成事業（助成金）の効果

バザーや講演会等のイベントを行うことで、当事者が多くの市民と接することができました。また、事業所に多数参加いただき、日中活動の発表の機会提供、知名度アップ、事業所間の交流もできたことは意義深かったと思います。

■今後の予定、将来的に取り組みたい課題

課題としている障害福祉グループホームの建設は、地域生活支援拠点構想の枠組みの中で考えていくことだと思います。地域自立支援協議会の部会で、障害の種別、年齢を問わず、福祉サービスを全体で調整しながら考えていくのが良いと考えています。



ドリームバザー

市では、市民活動団体が地域の課題を解決するために提案・実施する事業を募集し、助成金を交付しています。平成26・27年度に市民活動助成事業の対象となった団体を紹介します。

★木野の未来を明るくする会

代表者 き む ら 木村 た け と み 武臣



ベビーマッサージの様子

けん玉教室

■地域の課題

木野小学校跡地に建設された交流館にある子育て支援室がフローリングのため、子育て支援行事を行えず、活用できていません。

■目的

子育て支援室を活用し、生後早い時期から子育て支援ができるような企画を実施しています。また、年齢を越えて交流できる場をつくり、地域活性化を図ります。

■活動内容

年1回の木野両国祭りを定期的に行っています。その他継続事業として、子育て支援室で月に1回、講師を呼んでベビーマッサージ講習を行っています。また、小学生を対象とした昔遊び（竹馬や水鉄砲づくり、けん玉教室等）を不定期で開催しています。

■財源

実行委員が両国祭り開催の協賛金を各企業にお願いに伺っています。その他の事業は参加料や会員からの協力金でまかっています。

■助成事業（助成金）の効果

子育て支援室に助成金を活用してジョイントマットを購入しました。おかげで現在も継続事業としてベビーマッサージ講習会が開催できています。けん玉も数個準備することができたので、けん玉教室の開催時に利用しています。

■今後の予定、将来的に取り組みたい課題

子育て支援、地域活性化のため、今後も活動を継続していきたいと考えています。若い人々の参加をお願いします。